

中国地方整備局 電気通信業務概要

(安全・安心な暮らしを支える情報通信技術)

国土交通省 中国地方整備局
企画部 情報通信技術課



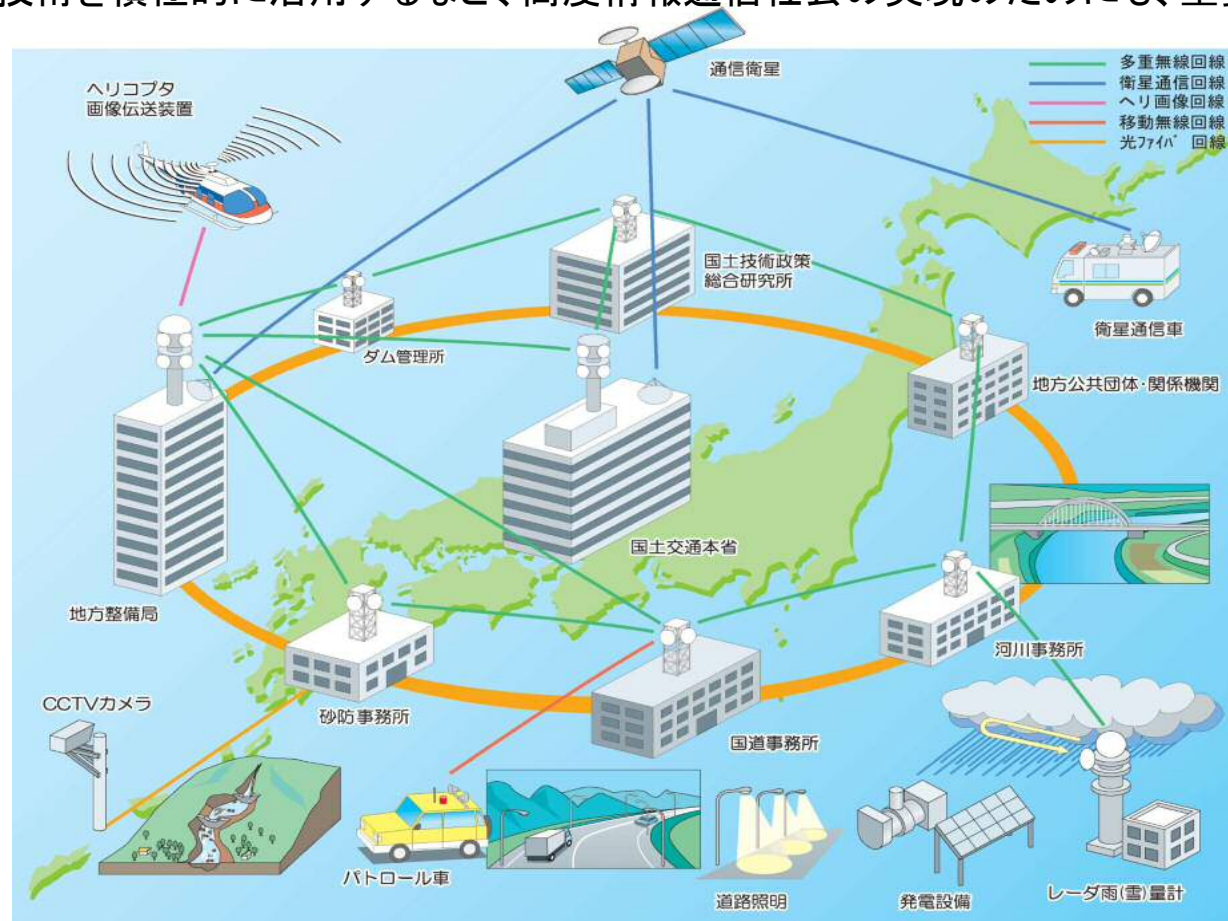
国土交通省の電気通信の概要

国土交通省では、「人々の生き生きとした暮らしと、これを支える活力ある経済社会、日々の安全、美しく良好な環境、多様性のある地域を実現するためのハード・ソフトの基盤を形成すること。」を指名として、治水、道路、都市、住宅等に関する各種施策を実現しています。

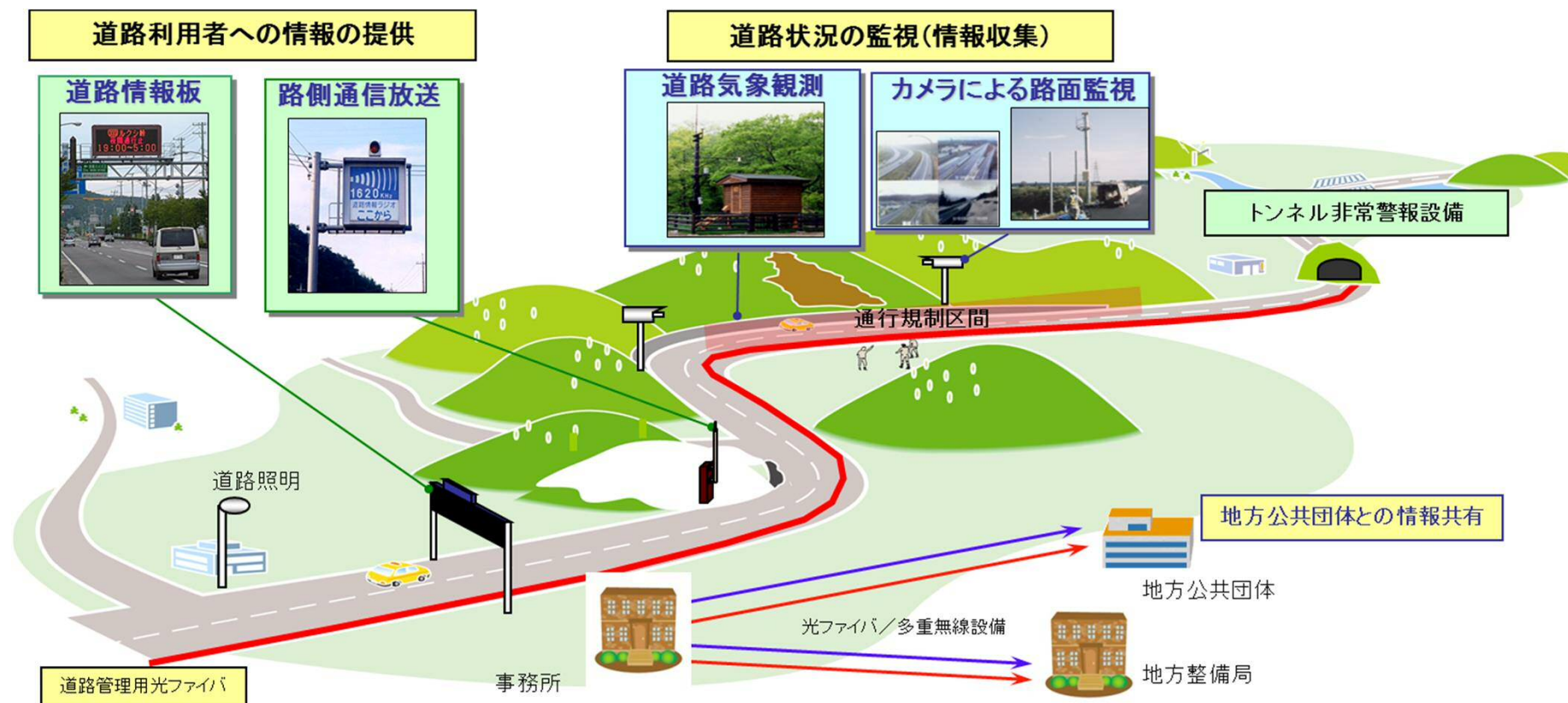
施策の実施にあたり全国に8地方整備局と北海道開発局を配置し、各局の出先機関として事務所及び出張所・支所等を配置することより、河川、道路、ダム等の施設の整備や維持管理、防災対策等を行っています。

国土交通省の電気通信では、河川、道路等の社会資本の有効活用、効率的で高度な維持管理、効果的な災害対策を行うため、これに必要な電気通信関係の施設整備、システム構築、維持管理を行っています。

また、最近の情報通信技術を積極的に活用するなど、高度情報通信社会の実現のためにも、重要な役割を果たしています。



河川や道路における主な電気通信関係業務(道路)



道路における主な電気通信関係業務

- 通行止めの情報など運転者へ道路情報板などを使って情報提供しています。
- 安全に道路を利用してもらうため、道路照明やトンネル照明、トンネル内での事故発生に使用される警報（押しボタン、非常電話など）を設置しています。
- 道路の積雪状況や土砂崩れなど監視するためのカメラを設置し、リアルタイムで確認するために光ファイバーを使って情報を収集しています。

河川や道路における主な電気通信関係業務(河川)

河川状況の監視 (情報収集)

- ・河川巡視、監視の補助



流域状況監視、
ゴミ等の不法
投棄監視

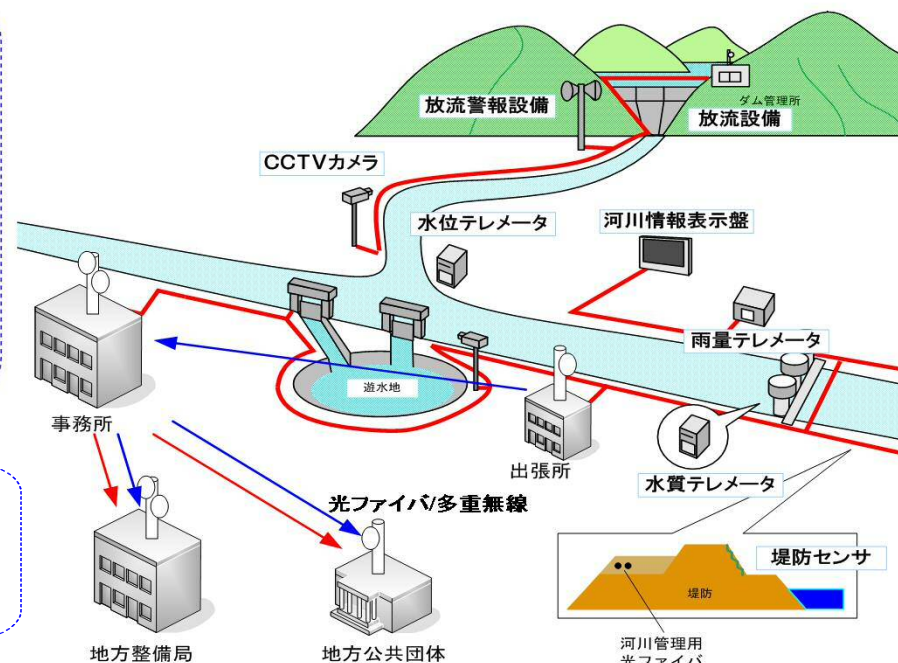
- ・河川状況の監視



河川の状況を
雨量、水位状
況にて把握

河川利用者への 情報の提供

- ・水位上昇の注意喚起
- ・水辺への情報提供



河川管理施設の 遠隔操作

- ・ダム放流、警報操作



- ・ポンプ、樋門、樋管操作



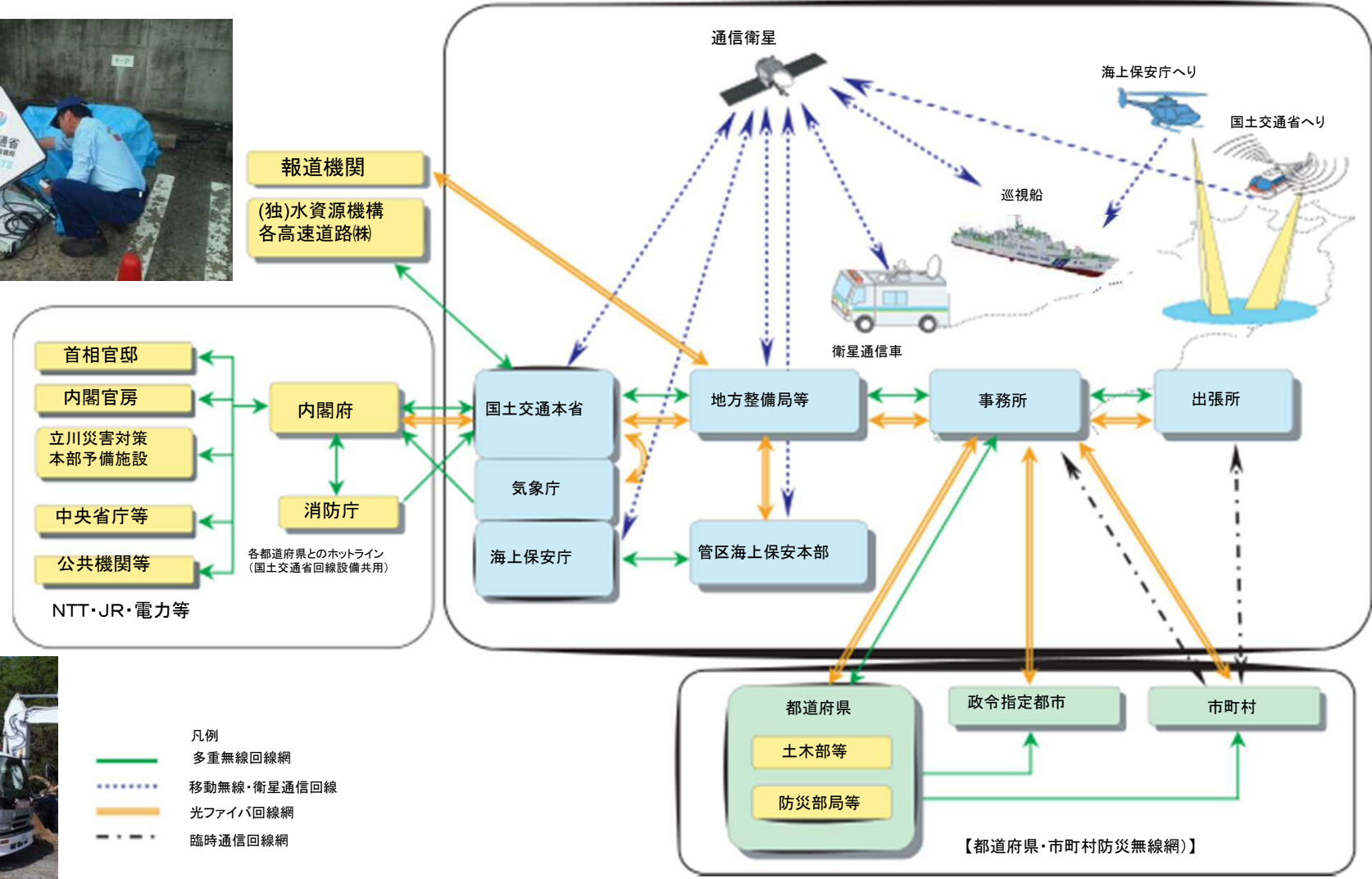
光ファイバ等を介し、ポンプ、
樋門、樋管等の河川管理
施設を遠隔地から操作

河川における主な電気通信関係業務

- 大雨や洪水など災害の予兆を迅速に把握するため、河川の水位や雨量データを無線回線等を使って収集しています。
- 上流で大雨が降るなど、河川の水位上昇が起こる時には危険をお知らせするための情報板や警報サイレンなどを使って情報提供を行っています。
- 洪水の時など、河川の状況を監視するためのカメラを設置し、リアルタイムで確認するために光ファイバーを使って情報を収集しています。

災害対応と防災通信

国土交通省の情報通信ネットワークは、全国の国土交通省の拠点（約900カ所）や都道府県、市町村、さらには首相官邸等の中央防災機関と接続することにより、総合防災ネットワークとして機能している。



中国地方整備局電気通信関係組織

